

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東海)		-	-	-
		商店街（代表者）	来客数の動き	・今回は10連休という特殊要因で比較しにくい。商店街は連日大変なにぎわいで、売上は前年同期比130%であった。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・東京オリンピックが近づいてきたお陰で、販売も良い感じがする。
		スーパー（販売担当）	来客数の動き	・いろいろなイベントで来客数が増え、販売量も増えた。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・前月の前年比と比較して0.8%改善されている。要因は急激な気温上昇に伴い、冷し麺やソフトドリンクが伸長した。気温の要因以外では、スタンプラリーなどの企画で来客数が前月の前年比と比較して0.5%改善した。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・5月としては、前年より大分気温が上がったので、来客数は伸びてきている。単価が変わらないか、むしろやや下がっている店が多いが、当店の売上は微増である。
		コンビニ（店員）	販売量の動き	・店内手作り弁当の売上が伸びてきたこと、急に暑くなり、アイスクリームやドリンクの販売量が増えたことが好調の要因と思われる。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・前月に続き前年に比べると販売量が多く売上に寄与している。この上期は、消費税の引上げ前ということもあって9月までは上昇傾向で売上は伸びると想定している。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・今月に入ってから、受注が好調で、前年比を上回っている。車検証に令和元年の表記がされることに加えて、消費税増税の駆け込みが始まったようである。来客数も前年比を上回っていて、久しぶりのにぎわいを感じる。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・例年なら新年度の始まりは受注が落ち込むが、前年同月と比べ販売台数が増えている。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・宿泊者数は4月辺りから前年を上回っていて、宿泊業は景気が後から来るといわれているので、若干良くなっている気がするが、昼食の実績をみ比べると前年比で80%前後と低迷しており、昼食は地元経済の反映でもあるので、余り良くないと感じるので、どちらともいえない。
		都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・客足が良くなっている。宿泊の売上は、ゴールデンウィークは10連休でよかったが、その後は前年割れで月間では前年並み、レストランも売上は前年並みである。
		その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	来客数の動き	・観光列車や定期券の売上が上向いており、長期短期共に若干売上増が期待できる。
		美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・2点セット購入でのサービス品目的の客で、買上がアップした。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・今年は例年と違い、10連休というゴールデンウィークがあり、このゴールデンウィークの売上は、110%ぐらいに伸びた。ただし、それ以降の落ち込みが激しく、例年と変わらない。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・客単価が余り伸びてきていない。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・やはり客は安い物を求める。特に若い人はそうである。
		商店街（代表者）	それ以外	・創業以来付き合い合ってきた老舗の仕入先が事業停止した。衝撃を受けたが、景気が全く回復していないことを強く実感した。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・前年の猛暑の影響が今年はエアコンの動きが早い。客が夏の猛暑に危機感を持ち、早めにエアコンを取り付けようとしているのではないかと見込まれる。
		一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	販売量の動き	・景況感に変化はない。

一般小売店〔薬局〕（経営者）	来客数の動き	・入店しているテナントビルは駅前開発で6月に取壊しになるため、現在閉店セールを行っている。一部のテナントは既に退店し、バーゲンセールも始まっているのでお買得品を買おうと多少来客数は増えているが、他の店長と話をしても前と比べて間違いなく客足は落ちているという。
一般小売店〔生花〕（経営者）	単価の動き	・連休中の来客数は少なかったが母の日の売上は前年比で約15%伸びた。単価の低い物がよく売れたが、高価なプレゼントより安価な花を選んだのかもしれない。ギフトの単価は確実に落ちている。
一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・5月は、新しい元号になって気持ちは上を向いているが、残念ながら財布のひもは固い。個人客は、特に財布のひもが固い。法人客は、新年度になって予算が付いたので、贈答品、記念品等の販売の動きは大きくなっている。したがって、個人客は厳しく、法人客の営業性は良く、2つを足すと変わらない状況である。
一般小売店〔書店〕（営業担当）	販売量の動き	・新年度の受注量が一旦落ち着き平常期に入った。
百貨店（経理担当）	販売量の動き	・ゴールデンウィークの10連休については天候が良かったこともあり、買物よりもレジャーへの消費が多かった。10連休後も余り購買意欲が見受けられない。
百貨店（経理担当）	販売量の動き	・ゴールデンウィークの10連休でマイナスの影響を懸念していたが、結果的には前年並みで落ち着いた。
百貨店（経理担当）	お客様の様子	・消費には勢いを保っている訪日外国人旅行者の下支えがあるものの、全体としては3か月前と変わらず低調に推移している。
百貨店（販売担当）	販売量の動き	・大型連休後は来客数も減り、購入率も低下した。後半になるとボーナス、消費税増税前の下見が増えたが購買意欲は伸び悩んだ。インバウンドは中旬から増加し好調に推移している。
百貨店（計画担当）	お客様の様子	・引き続き、富裕層の買上状況やインバウンド需要が底堅い。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・5月は今までにない長期の休みが続き、国内外で旅行に行く人が増えた。大きな出費となり、生活費は縮小気味になっている。週2～3回の食料品等の買物をできるだけ安値のスーパーで済ませ出費を抑えている。節約志向はますます強まり、お買得商品を安く購入している。
スーパー（店長）	単価の動き	・10連休のゴールデンウィーク明けということもあり、金を使わない傾向がうかがえる。安物買いが増え、ぜいたく品の購買率は下がっている。客単価もダウンしている。
スーパー（販売担当）	それ以外	・売場のレイアウトを変更してスッキリした。その効果もあってか、売上の前年比100%超えは続いている。
スーパー（商品管理担当）	販売量の動き	・商品量の変動もなく推移している。
スーパー（商品開発担当）	販売量の動き	・販売量は、3か月前も前年比100%を達成しているが、予算に対しては数値を割り続けている。実感としてさほど景気が良くなっているようには感じない。
スーパー（経営企画担当）	販売量の動き	・上旬までは売上が芳しくなかったが、中旬以降は青果で企画したイベントが好調だった。
コンビニ（企画担当）	販売量の動き	・初の10連休により、例年に比べ通勤客が減少する駅ナカ店舗は大きく減少すると思われたが、想定ほどの影響はなかった。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・たばこやチケットなどのサービス品で客単価は上がっているが、来客数が増えてこない。
コンビニ（本部管理担当）	来客数の動き	・5月の売上は前年比102%と好調で、景気は良くなっていると判断したくなるが、単純に今月初めのゴールデンウィーク10連休が前年比を押し上げている結果である。6月もこの状況が継続するならば、景気判断は本格的に上向きと判断できる。

衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・連休中は来店客が少なく散々だった。前年はイベントで客を呼び込んだので、それに伴い店頭売りもできていた。今は、きっかけを作らなければ、客もなかなか来店しないご時世なので、会話の中からきっかけを作って電話で呼び込みをしている。商売を何十年もしているので、電話にご主人が出てもガチャんと切られず、会話ができるだけでも有り難いと思っている。
衣料品専門店 (売場担当)	お客様の様子	・客の購買に対する意欲が感じられない。
家電量販店(店員)	販売量の動き	・余り旺盛な購買意欲を感じない。テレビの売上が良くないが、エアコンは売れている。トータルでは余り変わらない。
乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・大型連休や改元などイベントはあったが、車の整備に関しては特に関係なく、いつもどおりであった。
乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・新型車が発表になり、新型車はそれなりには売れているが、既販の車種の販売台数が伸び悩んでおり、全体的には前年並みの台数で推移している。
乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・今月初めの長期連休のためか、客の反応はいつもに比べてメリハリが弱く感じられる。新型車両の発表があったが、自分の客は購買層に当たらないようで、購買意欲をかき立てられるような反応はなく、連休で金を使ったという話題ばかりだった。
乗用車販売店 (従業員)	お客様の様子	・どちらかというと景気は良くないと思うが、やはり東京オリンピックの効果で盛り上がり、改元で少し良い方向に向かっている。ただし、最近また変な事件や事故が増えているので、これで再び行ったり来たりで、分からない状況だと思う。
乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・販売台数は余り伸びていないが、問合せはまあまああり、判断が難しいところである。悪いとも良いともいえない感じである。
乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・新規客は大分減少気味である。また、来店しても成約につながる率がかなり低い。
住関連専門店 (営業担当)	お客様の様子	・新築のマンション、一戸建て住宅共に伸び悩んでいる。民間の設備工事及び企業関係の設備投資やビルについても、現状維持が多い。ただし、リフォーム工事、耐震工事に伴う改修工事等は増えている。
その他専門店 [書籍](店員)	来客数の動き	・今年は改元があって10連休の企業も多く、想像以上に来客数が減少しており、前年よりも悪い状態が続いている。
一般レストラン (経営者)	販売量の動き	・連休明けから、例年に比べ販売量は少ない。
一般レストラン (従業員)	来客数の動き	・ゴールデンウィークが明けて、動きが落ち着いてしまった。
その他飲食[仕出し](経営者)	単価の動き	・業界によって捉え方は違うと思うが、ゴールデンウィークの賛否の分析は必要である。米中貿易摩擦の影響への疑心暗鬼など、良いのか悪いのか、様々な要素が重なりすぎている。
その他飲食[ワイン輸入](経営企画担当)	販売量の動き	・イベント時の販売量は前年を上回っており、消費者の購買意欲は高い。
観光型ホテル (支配人)	来客数の動き	・3か月前と同様に、一般宴会においては前年に受注した一見物の大型宴会に代わるものが今年も受注でき、何とか前年並みになっている。全社では若干のプラスになった要因は、前年に比べて婚礼がすこぶる良いためである。
旅行代理店(経営者)	単価の動き	・大型連休も終わり、夏以降の旅行の受付をしていると漠然と感じることは、予算がかなり前年よりも絞られているということだ。Webサイトの影響かもしれない。あらかじめ最安値価格を調べてから相談にくる傾向がある。
旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・4～5月中旬まで、受注も好調で今年度のある程度の売上もめどが立ったが、5月中旬以降はやや販売量が低迷している。

旅行代理店（営業担当）	それ以外	・団体旅行の受注量は例年並みで、秋口の団体旅行の問合せが増えてくる時期であるが、宿泊施設の手配についても例年並みの確保のしづらさとなっている。特に都市部では、外国人観光客の先約が多いことが原因のようで、民泊の規制緩和等を早急に推進する必要がある。
旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・大型連休に旅行需要が集中したせいか、今月は旅行申込みが減っている。結局、旅行計画がゴールデンウィークになっただけで、全体数には増加はみられない。天候、気候が不順な時期になり、店に出向く客の足も鈍化していく傾向があり、先行きは不安である。
タクシー運転手	来客数の動き	・少なくともここ2～3年は、繁華街、飲み屋街の人出が少なく、変わらない。ほとんど動きがないような感じである。
タクシー運転手	お客様の様子	・10連休があったため、特に会社関係や病院などが休みということで、夜の仕事や通院の客が少なかった。連休の前半はまだ良かったが、特に後半は相当売上も落ちた。連休後もやはりいろいろ出費した影響もあって、売上が伸びなかった。
通信会社（企画担当）	販売量の動き	・新規契約数、解約数共に減少してきており、動きが鈍っている。当地域特有の自動車会社の不正問題の影響であろうか。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・通信費でさえ削ろうとして、回線を廃止する客が増えてきている。
観光名所（案内係）	お客様の様子	・ゴールデンウィークの前半は天候が悪かったせいかもしれないが、富士山の中腹、5合目では相変わらず客が非常に少なかった。
美容室（経営者）	お客様の様子	・客にゴールデンウィークの過ごし方などを聞いていると、出掛けた人が少なく、余りに金が掛かるので出掛けなかったという人が多かった。
美容室（経営者）	来客数の動き	・2月頃は寒すぎ、今月初めは暑すぎたので、どちらも客足が悪く変わらない。
住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・10連休があったが、長すぎるほどの休みで旅行に行ったのか、前年に比べて来場数が伸びなかった。その分のしわ寄せが6～7月に影響すると思われる。
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・消費税の引上げを控えて、余り変化は感じられない。
その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	販売量の動き	・3か月前に比べると、やはり入居数はかなり減ったが、代わりに退去数が少なかったので平均並みに抑えられた。長期休暇のダメージは最小限だった。
百貨店（売場主任）	お客様の様子	・今年はゴールデンウィークが長かったので、どこかに行く人が多いかと思ったのだが、結構来客数はあった。ただし、食事に来るぐらいで買物をする雰囲気ではなかった。連休が明けると、ずらして休みをとっている男性客の1人歩きが多かったが購買力はなく、ただ時間潰しにぶらぶら見ているという形で売上は結構厳しい。自社カードのキャンペーンをやっても、そんなに売れる雰囲気ではなく、また、キャンペーンを知っていても、別に買わなくてもいいという客も多いので、今月は売上が厳しい。
百貨店（総務担当）	お客様の様子	・10連休により、消費ではなくレジャーや旅行に金が回ったようであり、売上は前年を割る状況である。また、10連休中は航空運賃や宿泊費が高騰し、外国人もその期間中は来日を控えたようで、免税品の売上が失速したことも、売上不調の原因である。
百貨店（業績管理担当）	販売量の動き	・前年は競合店が改装で店舗閉鎖していたので、今年はその反動で売が大きく減少し、苦戦している。
スーパー（店員）	単価の動き	・乳製品などの値上がりの影響が大きい。和菓子類なども価格を変えたら売上が減少した。
スーパー（総務担当）	販売量の動き	・来客数は変化がないが、商品の値上げなどで、売上が良くなかった。
スーパー（ブロック長）	お客様の様子	・月初めには改元記念商品、10連休中は行楽商品、パーベキュー材料などが好調に売れたが、懸念していたおりに連休明けから一気に消費は落ち込んだように感じる。
スーパー（営業企画）	単価の動き	・来客数は変化ないが、買上点数、1品単価共に低下してきており、し好品の買い控えや日用品の低価格志向など、保守的な消費傾向がみられる。

	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・ゴールデンウィークは10連休ということもあり、鉄道利用客などがかなり増え、著しい伸びを示したが、連休明けは、来客数、販売数共に大幅に落ち込んでいる。また、月末に向かっても、来客数、販売数は戻ってきていないため、トータルではマイナスという結果になると考えられる。
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・連休明けから、特に中旬から後半になるほど、来客数が減少していった。
	衣料品専門店（販売企画担当）	競争相手の様子	・同業他社では、5月の売上は例年の40%ダウンと急激なマイナスになっている。当社も、5月の売上は20%ぐらい下がっている。
	家電量販店（フランチャイズ経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク明けでも来客数が回復せず前年割れである。例年よりエアコンの動きが良く、客単価は上がっているが、来客数と相殺され売上は前年並みである。
	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・個人事業主を中心に、仕事量が減っているという話を耳にする機会が増えている。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・5月の長期休暇前後は厳しい状況となった。どちらかといえば郊外に出掛ける人が多く、販売店に来店する動機も作れず、苦戦した。
	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・10連休の影響かは分からないが、連休明けから客足が伸びず、それに伴って販売量も上がらない。
	その他小売 [ショッピングセンター]（経理担当）	販売量の動き	・従来、売上高や来客数の前年比の数値は、プラスマイナスが交互に表れ半々程度だったが、マイナスが90%以上を占めるようになった。
	高級レストラン（経営企画）	来客数の動き	・ゴールデンウィークは、10連休になった分利用日は分散したが、前年より多くの来客数があった。しかし、連休明けからは特に平日の動きが悪い。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数が減っている。
	都市型ホテル（経営者）	販売量の動き	・米中の貿易摩擦は大きな課題である。
	タクシー運転手	来客数の動き	・地方のタクシーなので高齢者の客が少なくなっている。
	通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・新規申込みの数と同じくらい解約の申込みがある。
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・販売量が少ない。
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・平日の客の動きが鈍い。
	テーマパーク（職員）	お客様の様子	・5月の連休後、急激に減少している。
	ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・今月の入場者数は現時点で前年より少し悪い。売上に関しても前年より悪くなっている。前年の5月は特に良かったわけでもないの、景気はやや悪いと判断する。また、3か月前は好調に推移していたので、景気は悪くなっていると感じる。
	パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数や単価の動きがやや悪くなっている。
	理美容室（経営者）	来客数の動き	・今は段々と暖かくなってきて客が増える時期だが、客が余り来ない。
	設計事務所（職員）	お客様の様子	・打合せや相談の場では景気の良い話は聞かない。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・客の様子から、リフォーム等でも一段落してしまった感がある。
	その他住宅[住宅管理]（経営者）	お客様の様子	・賃貸マンションのリフォームが増えているが、オーナーに聞くとリフォームしても次がなかなか決まらないとのことである。リフォームも壁紙と床の補修など最低限しか発注がない。仕事が増えても利益につながらない。
×	一般小売店[結納品]（経営者）	販売量の動き	・今月は最初が10連休だったため、小売は全然売れなかった。
×	一般小売店[酒類]（経営者）	お客様の様子	・取引先の飲食店からは、閉店の相談が続いて出ている。

	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・10連休という大型連休があり、全く街の中は静かになってしまい、経済活動がストップしたような感じである。一部の地域では良いかもしれないが、消費マインドについては非常に影響が大きく、ほとんど活気のない街の状態だった。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・ゴールデンウィークの長期連休が影響している。
	×	理容室(経営者)	お客様の様子	・連休の後は客の来店サイクルが長く、余分な金は出さない。
	×	設計事務所(経営者)	来客数の動き	・ほとんど案件がない。
企業 動向 関連 (東海)	-	-	-	-
		通信業(法人営業担当)	受注量や販売量の動き	・行政、民間共、引き合い、問合せや見積依頼が増えた月だった。消費税の引上げを前に、株主総会を終えて次年度事業を見越した投資を検討する客もあった。
		金融業(従業員)	取引先の様子	・周りの自動車産業、自動車部品産業では比較的生産も落ち着いていて、平年並みという印象だが、特に建築等に関連する業種は今かなり忙しいらしく、広範囲にわたってとても景気の良い状況になっている。
		食料品製造業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・受注量から例年並みで横ばいとなっている。
		食料品製造業(経営企画担当)	受注量や販売量の動き	・昨夏以来、販売が芳しくない状況が続いている。原料価格も高値で推移し、非常に厳しい経営環境になっている。
		パルプ・紙・紙加工品製造業(顧問)	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共最近は横ばいが続き、このままの状況で進み、景気は余り変わらない。
		化学工業(総務秘書)	それ以外	・景況判断としては横ばいという指摘があるものの、良好な決算情報や内定を競う新卒採用の状況から、良好な景気が継続している印象を受ける。
		窯業・土石製品製造業(社員)	受注量や販売量の動き	・特別に受注が好調な製品はないが、全体的に受注が堅調で、毎週2～3日の残業をしている状況である。
		金属製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・販売量は減少しており、引き続き良くない状況が続いている。
		金属製品製造業(従業員)	受注量や販売量の動き	・案件の引き合いは引き続き多く、工場の繁忙状況はしばらく続くと思われる。
		電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・ここ3か月間の売上はプラスマイナス数%程度で、ほぼ横ばい状態である。
		輸送用機械器具製造業(品質管理担当)	取引先の様子	・ゴールデンウィークまでは、いろいろな企業でそれぞれ景気は良い感じがしたが、その後は余り大した動きもなかった。
		輸送業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・4月の年度替わりから値上げした客もあり、収入は増えているが、外注費、人件費の増加で帳消しになっている。
		輸送業(エリア担当)	受注量や販売量の動き	・東京オリンピックまでは、受注量は変わらないと思われる。
		輸送業(エリア担当)	受注量や販売量の動き	・10連休があったが、休みに入る2週間ほど前から荷物の量がふくそうだった。年末の繁忙期ぐらいの荷物の量が毎日2週間ぐらい続いたが、10連休が終わった後はばたっと荷物の量が減った。5月を通じてはそういう状況になったので、景気が上向いている様子はうかがえない。
		通信業(総務担当)	それ以外	・5月は大型連休の影響で、個人消費については、自分も含めて宿泊旅行による車の移動や宿泊先での出費等、消費は増えている。しかし、企業側では稼働日数が減り、生産仕掛りの積上げがなく、短期の数字としては停滞する。
		通信業(法人営業担当)	それ以外	・消費の動きや雇用情勢はおおむね横ばいであり、急激な変動は感じられない。
	金融業(企画担当)	取引先の様子	・為替が大きく動いていない。株価も上昇基調にないことから、個人投資家は様子見で動きづらい状況である。個人投資家ではない個人も、給料が上がっている実感がないことから消費には向かいづらい状況である。	
	不動産業(経営者)	それ以外	・例年同様に晴天の日が多いこともあり好調に推移し、売上は前年同期を上回っている。駐輪場は低額で利用できることもあり、必要な出費を惜しむほど景気は悪くない。	

	公認会計士	それ以外	・会計事務所の客の収益性が低下している。中堅中小企業の従業員の給与は上昇していない。中堅中小企業では廃業等が発生している。
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・大型連休の特需を受けて一部の飲食店などは前半は好調であったが、後半は不調が続いている。製造業は、後半は活発になるはずが伸び悩んでいる。
	その他非製造業 〔ソフト開発〕 （経営者）	取引先の様子	・ゴールデンウィーク明けは、全体的に停滞気味である。生産量や受注も活発ではなかった。競合先においても少し減少気味とのことである。商品の展示会は盛況であった。
	化学工業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・中国向け電材需要が悪く、プラスチック容器の出荷量も減っている。
	電気機械器具製造業（営業担当）	それ以外	・費用が一時的に増加している。
	電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・通信インフラ関係の機器を製造販売しており、通信速度の向上や新4K・8K衛星放送への対応のため、これらへの設備機器、工事の売上は順調であるが、ここにきてピークを迎えつつある。生産高はこれまでは右肩上がりであったが、その後横ばいになりつつある。
	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・先週中国の出資先へ行ったら、中国の自動車産業では週に3日程度しか働いていない事業所が最近出てきていると聞いた。
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・米中の貿易問題のやりとりが影響してきた。
	輸送業（役員）	受注量や販売量の動き	・前年同月に比べ輸送物量が落ちている。大型連休後は反動で一時的に輸送物量が増加したが、その後は前年をやや下回る状況である。
	不動産業（経営者）	取引先の様子	・引き合いはあるものの契約には至らない。
	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・相変わらず広告予算に対する価格競争が厳しいため、売上の的にも微減である。
	新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・10連休でいつもより新聞の休みが増えた。折込チラシもゴールデンウィーク期間は増えたが、その分その他の日は少なくなり、例年より少ない状況である。
	行政書士	受注量や販売量の動き	・4月までは良かったが、5月から暇だという業者の声をよく聞く。
	会計事務所（職員）	それ以外	・仕事で車を走らせていると、広告主募集中の白地看板をよく目にするようになった。宣伝効果の少なそうな看板を解約しているのだろうか。売上の増加を見込めない分、固定費を減らす方向に向いているように見受けられる。
	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	それ以外	・中途採用への応募者がいつになく増えている。前年の倍以上発生している。
	× 鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に前年比5%ほどダウンしている。
	× 一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・北米の自動車向け設備投資の引き合い案件は、ほぼ全て延期が凍結となってしまった。
	× 電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・客先の業界が、全体的に設備投資を減らしている様子見の状態、季節的にも余り関連部品が出ないため、当社の製品も今は出荷が少ない状況である。
雇用 関連 (東海)	-	-	-
	-	-	-
	人材派遣業（営業担当）	雇用形態の様子	・外国人雇用が増加しているものの、生産性向上や定着率にはまだ成果が出ていない。
	人材派遣会社（企画統括）	採用者数の動き	・中小企業の求人案件がなかなか採用に至らず、継続案件として残っているケースが多い。
	人材派遣会社（営業担当）	採用者数の動き	・求人、求職件数共に横ばいである。採用を抑制する企業が増える一方で、人材不足により新たに採用する企業も増加傾向にある。
	職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人数が前年同月比で2割ほど増加している。

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・人手不足感から窓口に来所する事業所が増え、求職者への自社求人への送付が増加している。同じ職種でも採用条件の良い都市部へ人が流れている。反面、求職者の中には現状の収入を維持できれば休日を優先して考える傾向が出てきているため、転職が少ない可能性もある。
	職業安定所（次長）	求人数の動き	・有効求人倍率は依然高水準で推移しており、企業の人手不足感が強い。
	民間職業紹介機関（支社長）	求人数の動き	・有料職業紹介は期間工のメインチャネルではないが、自動車業界の製造職では期間工の求人発注が減少している。
	人材派遣会社（経営企画）	周辺企業の様子	・米中貿易摩擦の影響を含め、やや需要面の弱まりを感じさせる話がちらほら聞かれる。
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・ゴールデンウィークは超大型連休のため悪く、連休明けは例年並みであった。
	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・客先の製造業では5月から19年入社の新卒エンジニアの配属が始まっているが、前年に比べて配属ペースが鈍くなっている。また、新卒エンジニア向けの引き合い数も少なく、やや景気が悪くなってきていると感じる。
	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・正社員の求人数が減少傾向にある。
	求人情報製作会社（営業）	周辺企業の様子	・中国経済の減速から、自動車メーカー他、中国進出企業の国内生産が落ち込み、雇用が停滞している。自動車メーカーは裾野も広く、関連部品メーカーや製造派遣等の雇用にも影響しており、求人数が停滞している。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	採用者数の動き	・発注が落ち、採用を抑える企業が出ている。
	職業安定所（所長）	採用者数の動き	・新規求職者は引き続き減少傾向にあるが、4月以降は新規求人数も減少しており、これに伴い就職件数も減少傾向にある。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が9か月連続で前年同月を下回り、弱い動きが続いている。
	職業安定所（次長）	求人数の動き	・製造業を中心に、求人の動きが鈍くなっている。
	民間職業紹介機関（営業担当）	採用者数の動き	・米中貿易摩擦などの絡みか、製造業の客において採用基準の高まりや採用停止の動きが少しずつ色濃くなっている印象を受ける。
x	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	周辺企業の様子	・今まで新聞の求人広告をセールスしてくれていた会社が、ネットに力を入れたり、紹介業を始めたりと、新聞広告に力を入れなくなった。